

平成 2 9 年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

5年生を対象に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の集計結果が届き、北海道や十勝の状況が公表されました。

本校の状況をお伝えします。男子は、8種目のうち握力・上体起こし・長座体前屈・立ち幅跳びの4種目で全国平均を上回りました。その他の種目や体力合計点ではやや全国平均を下回ったものの、筋力・柔軟性・跳躍力に優れていることがわかりました。

女子は、長座体前屈で全国平均を上回り、握力・立ち幅跳びで全国平均とほぼ同等でした。その他の種目と体力合計点では全国平均をやや下回りましたが、筋力・柔軟性・跳躍力が高いことがわかりました。

また、男女とも、20mシャトルラン・50m走が全国平均を下回り、全身持久力や走力（疾走能力）に課題があることもわかりました。一週間の総運動時間や運動クラブの加入率、運動が好きな子の2極化が見られ結果に影響しているようです。

今後、運動量の確保や基礎感覚づくりを取り入れる等の体育の授業改善や体育的活動の日常化、基本的生活習慣の定着を図り、体力・運動能力の更なる向上に努めるよう全校で取り組んでいきたいと思ひます。